

平成 29 年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

通 所 介 護

勝 原 第 二 デイサービスセンター

平成 29 年度 事業計画

目 標	『利用者の在宅生活の継続』を支援する為の心身の向上を図り、利用者の介護度の維持を図る。
理 由	<p>利用者との日々のふれあいのなかで利用者が自宅での生活を強く望まれているのが読み取れる。その中で最近、転倒による骨折等をきっかけに入院、施設へ入所される利用者が多く見られるため筋力をアップし、体幹を鍛えることにより転倒防止を図る。また、精神的支援を行い、意欲の向上を図ることで利用者介護度の維持を図り、在宅生活の継続を支援する必要があるため。</p> <p>〔平成 29 年 4 月度在籍利用者の平均介護度(1.9)を維持することが目標。(要支援者は現状維持が目標。「要支援者人数 33 名」)〕</p>
具体的対応策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上下肢の筋力トレーニングを実施する。(歩行訓練、ゴム・ボール体操等) 2. マット運動を実施する。(体幹を鍛え、転倒防止) 3. 季節に応じたレクリエーション・施設外見学を実施する。(花見、七夕会、納涼大会、運動会、クリスマス会等) 4. ちぎり絵、習字、陶芸等の創作活動の実施(意欲の向上) 5. 毎月、介護認定更新者の状態を確認し、活動内容が介護度維持に繋がっているかの確認を行い、必要に応じて見直す。

平成 29 年度 事業報告

事 業 報 告	<p>計画に沿って背筋や腹筋などの筋力トレーニングや床からの立ち上がり運動、上下肢の筋力トレーニングとしてマット運動を行なった。また、四季を彩る植物の散策に出かけたり、施設内においても、縁日やクリスマス会など季節を意識した年間行事を行えた。創作活動においても、新たに編み物を取り入れ利用者からも好評を得ている。</p> <p>平均介護度は、平成 29 年度初めの 1.9 に対し、平成 29 年度末で 1.84 と低下しているが、これは軽度の新規利用者が多かったためで、1 年間を通して利用していただいている方で見ると平均介護度 1.60 から 1.93 と 0.33 上昇している状態である。</p> <p>平均介護度だけでは重度化が進んでいるように見えるが、転倒による骨折などを契機として重度化が飛躍的に進むような方はほとんどおらず、在宅生活を継続しながら安定して利用してもらえたことは、取り組みにおける成果が出ているように感じる。</p>
---------	--

事業運営総括	<p>年間を通して大きな問題や事故もなく運営できたことで利用率は平成 28 年度 80.9%にたいして 29 年度は 86.6%と 5.7%伸ばすことができ、平成 29 年度目標とした 85%を達成することができた。要因としては平成 28 年度下期より取り組んでいた広報活動をさらに強化し、年間を通して 34 名の新規利用者を獲得できたことである。又、新たな居宅介護支援事業所から利用者を紹介してもらうこともでき、広報活動が効果を出している。平成 30 年度は利用者延人数を約 100 名増やしたいと考えている。</p>
--------	--

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 1.31》

平成29年3月31日 現在

	人数	割合
事業	7	7%
要支援1	10	10%
要支援2	20	20%
要介護1	30	30%
要介護2	19	19%
要介護3	9	9%
要介護4	4	4%
要介護5	1	1%
合計	100	100%

月間利用実績（人数）

平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業	0	1	1	1	1	1	3	3	5	5	6	7	34
要支援1	12	13	12	12	11	10	10	9	10	10	9	10	128
要支援2	21	21	20	23	26	27	26	24	22	21	23	20	274
要介護1	32	31	34	35	35	33	31	33	32	31	29	30	386
要介護2	17	17	17	15	14	15	16	17	17	19	19	19	202
要介護3	9	10	9	10	10	11	11	11	10	11	10	9	121
要介護4	2	2	2	1	2	2	3	3	3	3	2	4	29
要介護5	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	16
合計	95	97	97	99	100	100	101	101	100	101	99	100	1,190

月間利用実績（延べ人数） 《稼働率 86.6%》

平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業	0	12	14	12	14	13	25	22	33	33	33	45	256
要支援1	47	51	47	47	47	40	35	40	37	39	30	43	503
要支援2	151	169	154	165	190	191	188	177	148	149	156	157	1,995
要介護1	325	380	407	434	416	388	391	366	360	321	298	342	4,428
要介護2	185	197	170	163	159	161	169	163	153	176	164	181	2,041
要介護3	80	80	89	104	77	84	98	106	91	77	65	70	1,021
要介護4	29	26	30	14	14	15	18	20	20	16	14	43	259
要介護5	8	9	6	8	3	11	15	16	13	13	15	11	128
合計	825	924	917	947	920	903	939	910	855	824	775	892	10,631

開所日数

平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	26	26	26	26	26	26	26	26	24	24	24	27	307

曜日別延べ利用実績

平成29年度

	月	火	水	木	金	土	合計
人数	1788	1789	1782	1763	1822	1687	10,631
割合	17%	17%	17%	17%	17%	16%	100%

1週当り平均利用人員

平成29年度

	月	火	水	木	金	土	合計	1日平均
人数	35.8	35.1	34.9	33.9	35.7	32.4	194.1	32.35
割合	17%	18%	18%	17%	18%	17%	105%	—

回数別利用人員

平成29年3月31日 現在

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合計
人数	33	38	14	10	4	1	100
割合	22%	46%	16%	11%	4%	1%	100%

保険者の状況

平成29年3月31日 現在

保険者	男	女	計
姫路市	26	62	88
太子町	4	7	11
たつの市	1	0	1
	0	0	0
合計	31	69	100

年齢別構成状況

平成29年3月31日 現在

	65歳未満	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上	合計
男	0	0	4	4	8	8	7	31
女	1	1	2	4	22	17	22	69
全体	1	1	6	8	30	25	29	100

日常生活状況

区 分		実数	割合
歩行	自立歩行	57	57.0%
	杖等の歩行補助器使用	39	39.0%
	車椅子使用	4	4.0%
食事	自分で可能	97	97.0%
	一部介助	3	3.0%
	全部介助	0	0.0%
入浴	自分で可能	82	82.0%
	一部介助	17	17.0%
	全部介助	1	1.0%
着替	自分で可能	82	82.0%
	一部介助	17	17.0%
	全部介助	1	1.0%

平成29年3月31日 現在

区 分		実数	割合	
排泄	トイレ	自分で可能	64	64.0%
		介助	21	21.0%
	おむつ使用		0	0.0%
	パッド使用		15	15.0%

対象人数	100
------	-----

行事報告

	行 事	レクリエーション及び体操
4月	野外活動 ・観桜（夢前河川敷、六角公園） ・チューリップ鑑賞（学園都市） ・芝桜鑑賞（ヤマサ蒲鉾） ゲーム大会	レクリエーション ・カーリングゲーム ・まっすぐ行ってゴーゲーム 体操 ・メダカの学校・北国の春
5月	野外活動 ・ルピナス観賞（三日月町） 下太田花祭り見学 ゲーム大会	レクリエーション ・バケツ送りゲーム ・鯉のぼり作り 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄
6月	野外活動 ・紫陽花観賞（世界の梅公園） ゲーム大会	レクリエーション ・アタック 25 ゲーム ・ブリッジストーンゲーム 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄
7月	野外活動 ・姫路城鑑賞 ・鹿島神社参拝 七夕会 ゲーム大会	レクリエーション ・バスケットボールゲーム ・ホームランゲーム ・七夕提灯作り 体操 ・メダカの学校・北国の春
8月	野外活動 ・向日葵鑑賞（佐用町） 第二デイゆかた祭り（盆踊り・縁日） ゲーム大会	レクリエーション ・的当て・輪投げ・射的ゲーム ・カーペット点取りゲーム 体操 ・メダカの学校・北国の春
9月	野外活動 ・弥勒寺参拝 ゲーム大会 岩波右扇会との交流	レクリエーション ・中央カーリング ・玉輪引きゲーム ・アタック 25 ゲーム 体操 ・リンゴの唄・北国の春
10月	野外活動 ・コスモス観賞（たつの市） 秋の大運動会 吉備神社（下太田）秋祭り見学 ゲーム大会	レクリエーション ・鍋ゲーム ・ボール運び・玉入れ・棒倒しゲーム 体操 ・リンゴの唄・北国の春

	行 事	レクリエーション及び体操
11月	野外活動 ・紅葉狩り ・菊花展（龍野公園） 和太鼓 ゲーム大会	レクリエーション ・中央カーリングゲーム ・お手玉投げゲーム ・まっすぐ行ってゴーゲーム 体操 ・リンゴの唄・北国の春
12月	野外活動 ・干支のわら細工見学（安志稲荷神社） クリスマス会 ゲーム大会	レクリエーション ・変形ボーリングゲーム ・お手玉運びゲーム 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄
1月	初詣 ・魚吹八幡神社・総社 書き初め大会 カルタ取り大会 ゲーム大会 鬼の面作り	レクリエーション ・買い物ゲーム ・伝達ゲーム 体操 ・メダカの学校・北国の春
2月	野外活動 ・梅花観賞（世界の梅公園、曾根天満宮） 豆まき ゲーム大会	レクリエーション ・伝達ゲーム ・買い物ゲーム ・カーリングゲーム ・棒倒しゲーム 体操 ・メダカの学校・リンゴの唄
3月	野外活動 ・菜の花観賞（御津） ・ひな飾り見学（たつの市・鹿ヶ壺） ゲーム大会	レクリエーション ・カップ積みゲーム 体操 ・リンゴの唄・北国の春

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	お誕生日会 カレンダー作り 身体測定（毎月） 体力測定（3ヶ月毎） 音楽交流会 （ギター演奏・第一興商） 作品展示会 （イーグレ姫路）	ちぎり絵 カラオケ 塗り絵 将棋 麻雀 囲碁 編み物 作品作り 習字教室	野外活動 リズム体操 歩行訓練 マット運動 ボール体操 ゴムチューブ運動 下肢筋力トレーニング ゲーム大会

職員間の内部研修の実施状況

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期 間	講師（職・氏名）
理念・人権研修	理念・倫理・守秘義務について	全職種	16名	4月1日	管理者・生活相談員
安全管理研修	送迎車のリフト操作におけるリスクについて	全職種	13名	4月23日	リスクマネジメント委員会
接遇研修	電話のかけ方・受け方について	全職種	10名	5月21日	接遇委員会
感染対策研修	食中毒の二次感染や手洗いの方法について	全職種	8名	6月25日	感染委員会
緊急対応研修	心肺蘇生法とAEDの使用方法について	全職種	11名	8月27日	環境・安全委員会
接遇研修	送迎時のリスクやマナーについて	全職種	10名	9月24日	接遇委員会
感染対策研修	ノロウイルスの症状と対策について	全職種	16名	10月29日	感染委員会
安全対策研修	避難時の対応と電話連絡による通報の仕方について	全職種	16名	11月26日	環境・安全委員会
食事研修	食事中の姿勢や服感について	全職種	16名	12月24日	リスクマネジメント委員会
接遇研修	アンケート集計結果を踏まえた仕事に取り組む姿勢について	全職種	16名	1月28日	接遇委員会
虐待防止研修	虐待の種類や原因について	全職種	16名	2月25日	リスクマネジメント委員会
感染対策研修	デング熱の感染経路や予防法について	全職種	16名	3月25日	感染委員会

職員の外部研修の受講状況

研修名	研修内容	参加職種	参加人員	日付	期間	場所	研修結果の報告方法
姫路市老人福祉施設連盟 新人職員研修会	福祉サービスの心構えについて	介護職員	1名	5月12日	1日間	姫路市商工会議所	口頭・復命
平成29年近畿老人福祉施設研究協議会 「和歌山大会」	介護の今、そして未来について	介護職員	1名	7月11日	2日間	和歌山県民文化会館	口頭・復命
姫路市老人福祉施設連盟施設長研修会	技術実習生制度の考え方、高齢者福祉の動向について	管理者	1名	8月3日	1日間	ホテル日航姫路	口頭・復命
姫路市保健所「感染予防研修」	施設における感染症対策について（管理者編）	管理者	1名	8月9日	1日間	姫路市役所 北別館	口頭・復命
姫路市保健所「感染予防研修」	看護職としての施設内での感染症対策指導の在り方について	看護師	1名	9月6日	1日間	姫路市役所 北別館	口頭・復命
姫路市保健所「感染予防研修」	感染症対策研修について（基礎研修）	介護職員	1名	10月12日	1日間	姫路市役所 北別館	口頭・復命
通所介護事業所向け安全運転セミナー	衝突事故、自損事故、搭乗者事故をなくす方法について	介護職員	1名	11月10日	1日間	姫路護国神社	口頭・復命
姫路市老人福祉施設連盟主催研修	伝える力について	介護職員	1名	11月15日	1日間	姫路市医師会館	口頭・復命
姫路市老人福祉施設連盟施設長研修会	介護報酬改定について	管理者	1名	1月20日	1日間	サンシャイン青山	口頭・復命
兵庫県老人福祉事業協会デイ部会研修	デイの利用者増につながる具体的活用について	管理者	1名	1月25日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命

避難訓練

実施日	訓練種目	訓練内容
4月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
5月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
6月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
7月3日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
8月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
9月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
10月2日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
11月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
12月1日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
1月30日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
2月3日	地震による火災・警報 通報訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認
3月2日	第二姫路・勝原ホームとの 合同訓練	地震発生時の火災時における避難訓練の流れ 通報の流れの確認

苦情対応

受付日	苦情内容	解決方法
平成 29 年 9 月 4 日	<p>「他の利用者の乱暴な言動について」</p> <p>利用者の担当ケアマネジャーより他の利用者が職員に対して行う暴言、暴力、セクハラなどが不愉快でデイが楽しめない。他のデイを見学したい。との、投書があったと連絡を受ける。</p>	<p>①職員連絡ノート、朝の朝礼にて、この内容を職員に周知する。</p> <p>②訴えのあった利用者と話し合いを持ち、出来るだけ他の利用者の暴言等が発生しないように職員も努力するが利用者の中には認知症を発症されている方も多く、そのような状況が発生することもあることを説明することで納得していただく。</p>
平成 29 年 9 月 9 日	<p>「送迎中の運転マナーについて」</p> <p>姫路・勝原ホームの副施設長より、「やながせの車の運転マナーが悪い。」と指摘の電話があったと連絡を受ける。</p>	<p>①管理者不在の為、相談員が相手方にマナーの行き届かない運転があったことを謝罪するとともに、当事者に対して注意・指導を行うことを伝える。</p> <p>②職員会議、連絡ノートにて、今回の苦情内容を職員に周知し、他の職員も同様に気をつけていくよう指導する旨も併せて伝える。</p>

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
平成 29 年 6 月 5 日	<p>「公用車の物損について」</p> <p>送迎時、狭小な道路で左後方をブロック塀に接触させ破損する。</p>	<p>①送迎時には、少し早めに出発し、心に余裕を持った運転を心がける。</p> <p>②車幅間隔を身につけ、道幅が狭い住宅道路では、目視で左右を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>③接触しそうな場合は、前進せず、後進操作を行う。</p>
平成 29 年 6 月 6 日	<p>「請求誤りについて」</p> <p>利用者の利用料金の請求において入力ミスがあり、利用者に返金が必要となった。利用者に事情の説明と返金を行う。</p>	<p>①手動での入力時は、間違いが生じやすい為、再度、サービスコードの確認を心がける。</p>
平成 29 年 7 月 23 日	<p>「生きがいデイサービスにおける送迎時の物損事故について」</p> <p>送迎時、優先道路を直進していると右側より飛び出して来た軽自動車とハイエースの右側面が接触する。乗車されていた利用者の確認を行ったところ、外傷はなく、痛み等を訴える方もいなかった。</p>	<p>①送迎時には、少し早めに出発し、心に余裕を持った運転を心がける。</p> <p>②片側 2 車線の道路を走行する際、なるべく左車線を走行するようにし、前方以外にも、左右からも車両が出てくる可能性を考慮し、注意深く運転する。</p> <p>③今回の事故を全職員に周知し、注意をうながす。</p>

<p>平成 30 年 1 月 15 日</p>	<p>「利用者の誤食について」</p> <p>おやつの時間において、食事制限の為、提供しない事になっている利用者にせんべいを誤って提供してしまい、少量召し上がられてしまった。</p>	<p>①通常とは違う対応を必要とする利用者は朝礼時に職員に確認し、実施前に再度、確認する。</p> <p>②通常とは違う対応を必要とする利用者がある際は複数人での確認を行う。</p>
<p>平成 30 年 2 月 26 日</p>	<p>「利用者の転倒について」</p> <p>利用者がマッサージチェアから立ち上がろうとして、バランスを崩し転倒され、ガラスに頭をぶつけられて、ガラスが割れる。利用者は頭頂部にわずかな裂傷が見られ、応急処置の後、受診されたが、異常はなかった。</p>	<p>①ホールの備品配置を見直し、危険性のあるものは移動または撤去を行う。</p> <p>②利用者が移動される時は、危険を予知し、見守りを強化する。</p> <p>③この事故を朝礼で職員に周知し、同様の事故が起こらないように、注意を促す。</p>
<p>平成 30 年 3 月 20 日</p>	<p>「公用車の物損について」</p> <p>送迎時、ハイエースでバックで狭い路地から出ようとしたところ、左後部のバンパーを壁に衝突させて、バンパーとブレーキランプのカバーを破損させる。</p>	<p>①送迎時には少し早めの出発をし、心に余裕を持って運転する。</p> <p>②車を後退で走行する際は必ず添乗員が安全確認を行う。</p> <p>③運転手は後方へ進行するときは、左右、前方、後方の安全を確認し、添乗員の安全の指示を確認した上で慎重に運転する。</p>